

議会だより



-contents- 6月定例会

- 新規補正予算見どころトピックス!!
 - ・大規模施設園芸、地域再生マネージャー 等…2～4P
- ここが聞きたい！
 - ・質疑&討論…5P
- 一般質問
 - ・9名の議員が町の考えを質す…5～10P
- 委員会報告&議員と語ろう会レポート…11～19P

外部専門家を活用し自立、自走できる地域づくりの推進

TOPICS

以下の3つの事業内容について外部専門家のアドバイスを受けながら事業を推進する。

①ブルーフラッグイメージを活用した民間事業を育成する。SUP体験、SUPヨガ等ビーチアクティビティ体験の実施体制強化。



SUP(スタンドアップパドル)ヨガ

②海の6次産業施設開業を視野に入れた運営支援、地域商社機能の検討。地域産品を域外へ販売していくための販路を含む事業計画の作成。



検討委員会の様子

③ふるさと納税活用事業。

- ・返礼品のブラッシュアップ
- ・新商品の開発
- ・ガバメントクラウドファンディング型の取り組み強化



(財源 ふるさと財団補助534万円)

(井上順也)

地域再生マネージャー事業
(人口減少対策)

農業活性化に資する取り組みの推進

TOPICS

高浜町の農業分野は、事業者の高齢化、後継者不足や鳥獣害等によって年々農家の数が減少し、休耕地が増加している。

高浜町はこれらを鑑み、平成24年度より大規模施設園芸事業による農業活性化に資する取組みを推進している。

本事業では、「ながの農園(ミディトマトの栽培、平成25年運営開始)」、「福井和郷(ミディトマトの栽培、平成27年運営開始)」及び「ジョリーファーム(観光いちご園、平成29年運営開始)」に続いて高浜町青戸に敷地面積10,000㎡、栽培面積5,700㎡の大規模園芸施設(ペティトマトの栽培、平成31年運営開始予定)の建設を計画している。

本施設は、最先端技術を導入し、安定した収穫量、品質の均一化、就農時間の短縮等を実現し、高浜町独自の農業イノベーション実現を目指す。

また、第一次産業(農業)と第四次産業(情報利活用ICT)が融合した次世代農業として近隣、地元住民の方々へ見学や生製品の提供等も検討していく。

(財源 電源立地対策交付金4,500千円 県費145,000千円 一般会計26,875千円)

(西野朋宏)



ながの農園と同様の連投型ハウス



ペティトマト(糖度9~11度)



平成30年度大規模施設園芸
(ミニトマト栽培)事業

さんやま 町道三山線測量調査始まる



複線化が整備される道路網

原子力災害制圧道路新設事業として、「町道三山線」(仮称)の整備に係る測量調査業務の経費、5億8千2百32万7千円が計上された。

「町道三山線」とは、原子力災害面における道路整備で、福井県で原子力災害制圧道路(2本)の整備が進む中で、防災機能

を備えた2車線道路として避難道路の複線化を目的とした町道である。

計画では、内浦地区を通る主要地方道舞鶴野原港高浜線を分岐し、神野区と神野浦区を結ぶ町道であり、自然災害により土砂崩れが頻発して日常生活にも支障を来していたが、今年度から工事着手される「町道柿ヶ渡線」と接続されれば完全な複線化となり利便性向上となる。

また、工事で発生した土砂は、オフサイトセンター裏に埋め立て再利用される計画である。
(井ノ元康夫)

TOPICS

原子力災害制圧道路新設事業

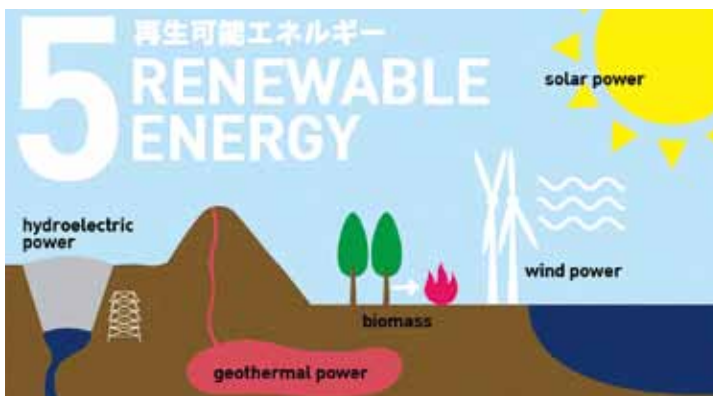
事業費に1,919万4千円!!

今後の各重点プロジェクト(城山再整備、保育所再整備、給食センター再整備等)において、各施設での再生可能エネルギーについて、導入可能性調査を実施

事業費	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金(国庫10/10)	19,194千円
旅費	視察先(東京都内を予定) 町長1名・課長級2名・補佐級2名	294千円
委託料	再生可能エネルギー導入可能性検討業務	18,900千円

するため、補正予算が計上された。事業内容は右の通り。

旅費について、視察地が未定であり、前回の業務で視察が無駄になったのではと委員からの指摘があり、事業の方向性を示し、視察先を選定するとの答弁があった。



(児玉千明)

TOPICS

再生可能エネルギー導入可能性検討業務





今回審議した 指定管理の現状報告

●高浜町休養施設「城山荘」

指定管理期間：平成30年度～平成32年度 指定管理者：有限会社 せくみ屋

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指定管理者	(有)せくみ屋(1期)	(有)せくみ屋(2期)			(有)せくみ屋(3期)		
指定管理料	7,000,000	0	0	0	0	0	0
納付金	0	0	0	2,400,000	2,900,000 予定 ※1	予定 ※1	予定 ※1



※1 平成30年度から指定管理納付金は、240万円若しくは事業収入の金額に2%を掛けて得た額のいずれか大きい方

平成26年度からせくみ屋が運営し、平成26年度には700万円の補填が必要であったが平成27年、平成28年度とも補填しなくて済んだ。経営努力の賜物である。そのうえ平成29年度には、240万円が町に納付された。



●道の駅「シーサイド高浜」

指定管理期間：平成28年度～平成30年度 指定管理者：中日本エクシス株式会社

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
指定管理者	(株)いきいきタウン高浜	(株)共立メンテナンス			～平成30年5月(株)ウェイザ 平成30年6月～中日本エクシス(株)		
指定管理料	23,000,000	15,000,000	9,200,000	9,200,000	18,000,000	14,000,000	13,000,000

指定管理者が、(株)ウェイザから平成30年6月1日に親会社である中日本エクシス(株)に変更された。指定管理料も平成24年の2,300万円から平成29年には、900万円に減少してきているが、なお一層の経営努力を期待する。

●青葉山健康長寿の里：ハーバルビレッジ

指定管理期間：平成30年度～平成32年度 指定管理者：(一社)青葉山麓研究所

	～平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
指定管理者	町営青葉山青少年旅行村	(株)いきいきタウン高浜		(一社)青葉山麓研究所		
指定管理料	—	16,120,000	16,120,000	16,120,000	同左予定	同左予定



これまで事業目的が変遷してきており今回は、薬草普及の拠点化や、お茶体験も企画されており、好評であったイベントも継続して行なわれる。

事業内容上、長期的に取り組むべきではあるが、指定管理料の低減を望む。



●まちなか交流館

指定管理期間：平成30年度 指定管理者：未定(町が暫定的に管理)

(釣本音次)



6月定例会では以下の議案を慎重審議しました

	議案件名	審議した委員会	本会議採決結果	関連ページ
議案第44号	平成30年度高浜町一般会計補正予算（第1号）について ・補正予算10億5千万44万7千円の追加補正 （園芸産地育成強化事業、原子力災害制圧道路新設事業等）	予算決算	賛成多数で可決 （賛成12反対1）	P2、P3 P5、P11
議案第45号	高浜町町税条例等の一部を改正する条例について ・配偶者控除を国の改正により変更するもの、 加熱式たばこのたばこ税を町税とするもの	総務産業	賛成多数で可決 （賛成12反対1）	P5、P12
議案第46号	高浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する 基準を定める条例の一部を改正する条例について ・教育職員免許法の改正により、 退職者も免状があれば基準に該当するようにするもの	厚生文教	全員賛成で可決	P14
同意第1号	固定資産評価審査委員会の委員の選任について ・委員任期満期における同意案件	本会議	全員賛成で可決	—

本会議での質疑・討論

質疑

議案第44号

上尾徳郎議員

地域再生マネージャーは各事業が定着するまでのマネジメントか、単なるアドバイスのなか

総合政策課長

客観的な立場から専門的アドバイスを受ける。財団の補助事業で単年度の実施。

上尾徳郎議員

「いきいきタウン高浜」によるミニトマト栽培事業での栽培技術の有無と、受益者負担の資金は

産業振興課長

社員がハウス栽培の研修中でミニトマト栽培の研修先を検討中。地元金融機関より融資を計画。

討論

議案第44号

反対討論

渡邊 孝議員

補正事業のうち、「高浜漁港再整備事業費」が計上されている。漁業の「6次化」には反対する。

賛成討論

井上順也議員

和田ビーチ視点整備事業は、観光客の増加に、大きく期待する。

ものである。
今年度に早期に進めて頂くことを要望する。

賛成討論

山本富夫議員

漁業6次化施設の反対を受けて、漁協の再建計画と6次化施設との一体化を最後のチャンスと捉え進めて頂くことが重要である。

討論

議案第45号

反対討論

渡邊 孝議員

個人所得課税の見直し案であるが、基礎控除の引き上げは当然であるが、給与所得控除・公的年金等控除の引き下げは認められない。

賛成討論

小幡憲仁議員

地方税法の改正に基づいた適正な条例改正である。
内容的にも中小企業の新規設備投資に対する減税措置なども盛り込まれており評価できる。



Q 再稼働税収で南山手線延伸と関屋付近に高速スマートIC設置を

A 南山手線延伸は27号補完で必要。スマートIC然るべき時期に検討

山本 富夫 議員



識。高いと認
は必要性が
山手線延伸
補完する南
道27号線を
路である国
定。幹線道
納される予
18億制度収
県にも約
予定。

A 工事費3000億円と仮定し大規模償却資産税は約18億円が3年程度毎年入る予定。

Q 高浜発電所3・4号機再稼働に伴う大規模償却資産税の大幅な税収の予定額と土木費・教育費にしか使えない場合に増収分を、防災、原子力災害制圧道路として南山手線延伸・事代坂田線改修に使用すべきではないか。
更には、高浜町に舞若線高速道のスマートICを設置すべきでないか。青郷地区区長会からも強く要望が出ている。



南山手線とスマートIC(案)



スマートIC

舞若線スマートICも防災面等から南山手線との関連性も含め関係機関とも調整検討する。

Q 工事による土砂処分で、田んぼの埋め立てが進んでいる、その対応は

A 農業委員会で違反の有無を把握し、指導の徹底に努めている

上尾 徳郎 議員



野原港高浜線(難波江海岸周辺)・神野区集落は、本年度、トンネル部の難波江工区・神野工区ともに行い早期供用開始を目指し施工中。
町事業として、仮称三山線(神野地係)・神野浦は、本年度設計業務、用

Q 原子力災害制圧道路整備事業の工事計画と進捗状況は。
A 県事業として、音海中津海線(音海区集落)・発電所正門周辺)は、トンネル・橋梁を施工し、本年度の供用開始を目指し、トンネル照明及び設備工事などを施工中。

Q 三山線の事業費が関西電力の負担とは。
A 県道として県の事業とはならなかったのか。

Q 原子力災害制圧道路は、県と電力事業者の協議により、道路管理者(県・町)が道路整備を行い、費用は全て電力事業者負担となっている。
県との協議のすえ、神野、神野浦地係の発電所周辺地係へのアクセス向上の必要性から町道として整備する事になった。

Q 地買収を行い、H31年度工事着工の予定。
A 県道として県の事業とはならなかったのか。



音海トンネル・橋梁 音海中津海線工事

Q 小学校の児童下校の見守り対策は



A 通学路での見守り活動を強化

廣瀬 とし子 議員

◆児童公園について
Q 町内には児童公園が少ない、児童がのびのびと遊べる場必要である。雨の日も利用できる公園内に施設を設けてはどうか。
A 公園整備については、「子どもたちが集まり住民



児童下校時のようす

A 教職員による付き添い、保護者の方のお迎え、ボランティアの方による見守り活動により、子どもが一人で下校することがないよう、十分な注意を行っている。

Q 5月に発生した、新潟県の小学校児童に、いたましい事件が起こった。低学年児童の下校時の見守り対策はどうか。
A 教職員による付き添い、保護者の方のお迎え、ボランティアの方による見守り活動により、子どもが一人で下校することがないよう、十分な注意を行っている。



中町広場前の住宅

A 外見だけではなく、内部にも雨漏り等様々な不具合箇所がある。現在入居されているので、活用についてはまだ検討を始めている。

◆住宅整備について
Q 中町広場前の住宅が老朽化している。町の中心でもあり、景観にも大変悪い、今後の活用は。

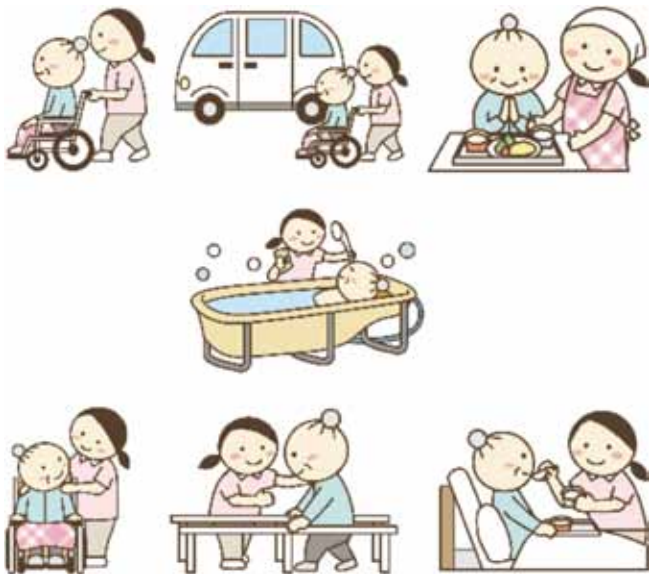
が集え公園整備の促進」と位置づけている、子育て世代の方を中心に利用者のニーズを把握して、ニーズに応じた再整備や機能充実に向けて。

Q 介護保険に助成を



渡邊 孝 議員

A 減免制度は適切でない



Q ①介護サービスを利用すると「利用料」を払わなければならないが(1)2割、助成できないか。
 ②施設入所すると居住費、食費が高く、低年金者には負担が重い。助成できないか。
A ①減免制度を実施すれば大幅な予算が必要となる。
 保険制度の持続的運営のためにも一定の利用者負担は必要である。
 ②低所得者には軽減制

度があり、入所費用は平均約6万円である。
◆学校給食費の無料化を
Q 憲法は、「義務教育は、これを無償とする」と規定している。
 全国市町村でも給食費無料化が進められている。高浜町も実施できないか。
A 多額の町負担が生じる。
 また、食材費は受給者負担と考えている。しかし、全国自治体の動向も調査、研究していく。



Q エネルギー基本計画見直し素案に対する町長の見解を問う

小幡 憲仁 議員

A 情緒的な内容でありエネルギーの将来計画に不安を感じる

Q 国のエネルギー政策を定める「エネルギー基本計画」の見直し素案が示された。

原子力発電所の立地町である当町にとって重大な意味を持つ計画である。高浜町議会では計画に原子力発電所の増設・リプレース方針が明記されるよう要請活動を展開したが、今回の見直し素案に明記されることはなく、原子力の位置づけがいまいちな素案となった。

町長として今回の見直し素案をどう評価しているか。

A 計画素案は原子力については消極的に、再エネは積極的に活用との内容となっている。

厳しい国民世論で原子力の活用方針を示す難しさは理解できるが、国の根幹を支えるエネルギーの将来計画が情緒的な内容となることには不安を感じる。



4年振りに見直しされるエネルギー基本計画

火力、原子力、再エネなどの特性を踏まえ、現実的な基本計画を示すことが政府の責任である。

高浜町の将来設計を描くためにも原子力発電の位置付けの明確化が必要。

*他に「固定資産税の県による課税回避」と「企業立地促進補助金の見直し」について質問



Q 広域可燃ゴミ処理施設の理解活動状況は

井上 順也 議員

A 先進地視察を予定している

Q 環境アセスメントの取り掛かり状況および理解活動の進め方は。

A 6月下旬から和田地区にて、アセスメントの実施内容について説明会を開く。また、6月下旬と9月上旬に先進地視察を予定。

町内は和田地区の基本同意を得てから説明会を開く、おおい町の隣接地区は4月から説明会を開始した。

◆子育て支援について

Q 子育て支援事業所の優遇策を検討できないか。

A 良好な事例があれば検討する。

◆農業支援について

Q 農業の担い手が安心して取り組める施策は。

A 農業機械の購入支援制度を立ち上げた。JA、国県とも連携し農家の経営環境の改善のため切れ目のない施策に努める。

◆インバウンド観光について

Q インバウンド(訪日客)観光の充実策は。

A インバウンド取り込みに関する「How To講座」などを検討する。



高浜町清掃センター



Q 本年3月末に販売開始した「高浜の海、パーフェクトガイド」の町内への周知を



A 一斉メール配信・HP・新聞・チャンネルOで周知、広報たかまはま7月掲載予定 大塚 ひとみ 議員



Q 観光客の誘致に繋がると、町が400万円をかけて月間URALLAの別冊として観光ガイドブックを発売。高浜の魅力を一冊にまとめた試みは評価している。

2か月経って初めて知ったという町民の声も聞く。誰をターゲットに、どういうツールとして使いたいのか。町民の保存版として購入して頂くためにも、町内へのPRや周知が必要。①その後の反響は。②コンビニ、書店の売れ行き状況は。



ターゲットに来訪のきっかけを掴むツールとして制作。①町内、県外からの購入報告や掲載記事に関する問い合わせも多数。夏季海水浴シーズンに向けて更なる反響が期待される。②販売数は約3000部。その他、「ドクターヘリ」福井県単独運航への働きかけを、「外灯LED化に向けた大規模予算の投入を」質問。

Q 町内児童館について、なくす方向性なのか



A 建て替えは考えていない

児玉 千明 議員



Q 以前、同僚議員の質問において、児童館は建て替えるを考えておらず、廃止の方向と伺ったが、どうなのか。A 築30年以上を経過しており、老朽化も進んでいる。しかし公民館が整備され、児童館の役割も担っている。Q 児童福祉法において、公民館と児童館の役割は違う。廃止は納得できない。選

挙権のない子供たちの居場所や遊び場を奪うのはいかなないかなものか。A 来年度より予算化される「高浜町内公園等再整備基本構想策定業務」もあるので、公園整備と併せて検討していきたい。他、空き家等対策計画について、拉致問題に対する教育について質問

Q 高浜駅周辺の浸水対策は、喫緊の問題である

A 検討する



釣本 音次 議員



子生川の水門

Q よく冠水する高浜駅周辺の雨水は、大半が側溝を通過して子生川の水門にいたる。
水門には、駅周辺だけでなく、国道沿い、瑞祥苑付近等の雨水も来る。水門を閉めれば、行き場を失い低い駅周辺の側溝から溢れ出る。
A 検討する。
これが原因である。対策は、すぐ前にある瑞祥苑の駐車場に小さな貯水槽を造り、そこに行き場のない雨水を導きポンプで排出すれば解決出来るが。

Q 歴史資料館前や宇治区の浸水等は、海面上昇の逆流による。
対策は、子生川の河口に水門を造りポンプで排出すれば解決できる。
A 汐入1、2号雨水施設の経過をみる。
◆広域可燃ごみ処理施設
Q 環境アクセスとは、町民皆様の健康や生活に悪影響を及ぼす要因の対策をし結果を評価すること。町民の意見も反映されるのか。
A 勿論反映する。

高浜町議会

9月
定例会

- 町民の皆様の議会傍聴大歓迎です！事前予約は不要です。
- 受付は会議当日議会事務局で行っております。
- 次回定例会は9月です。お待ちしております。



ぜひ議会傍聴にお越しください！

お問い合わせ 高浜町議会事務局 ☎0770(72)7710
<http://www.town.takahama.fukui.jp/index.html>

どなたでもご参加いただけます！皆様のご参加をお待ちしております！



仮称三山線道路新設事業 5億8,232万7千円

予算決算

常任委員会報告

委員長 上尾 徳郎

千円を追加し予算総額を112億7013万1千円とする。

◎再生可能エネルギー導入可能性検討業務1919万4千円

■前回の業務で視察が無駄になった経緯がある、先進地の視察先は

事業の方向性を示し視察先を定める、現在は白紙である。

◎連棟ハウス整備事業補助金1億9687万5千円・水田農業経営確立支援事業補助金2千万円

■事業計画と用地選定の経緯は

「いきいきタウン高浜」による栽培用ハウスへの支援事業。

嶺南で栽培実績が無く、他と競合しないミニトマトを栽培。

用地は「エルどらんど」東隣「FBC福放」の所有地、上下水道が整備されており、所有者の理解がある事が選定の理由。

◇6月11日(月)

付託議案審査の前に、議案に関わる事業もあり報告第3号「(株)いきいきタウン高浜」の経営状況報告の質疑を行った。また、議案審査終了後、道の駅「シーサイド高浜」「城山荘」の指定管理者より運営状況や課題など報告を受け、意見交換を行った。

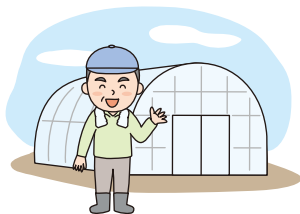
●議案第44号

■平成30年度高浜町

一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ10億5044万7

中し景観上問題があるとの指摘があり、植栽など実施し景観に配慮した対策を協議するとの回答。



連棟ハウス予定地

◎高浜漁港再整備事業・委託料2923万2千円

■事業内容は

再整備に係る港湾道路付け替えの測量調査設計業務。漁協の本所移転に伴う、荷捌き施設基本設計業務。漁協施設の補助申請に係る作成業務、交付金申請支援業務。



城山のぼり口

◎城山法面对策補修工事費2722万7千円

■法面上の樹木の管理対策は

のり枠工法の芝生が生える新工法での施工を計画している。大きい樹木は現場を確認し対応する。

◎原子力災害制圧道路(仮称三山線)新設事業

■事業費負担と町道での整備の理由、用地取得・物件補償の内容は

原子力災害制圧道路は電力事業者の負担での整備となっている。

県道(神野)へ発電所で行き止まりであり県道には出来ない。

工事残土の搬出処分のため、菌部地係オフサイトセンター裏側に用地(地権者4件)を確保。道路新設用地は、関西電力所有地の無償提供を受け他は民有地(地権者15件)。物件補償は立ち木等。



残土処分用地予定地

大型ハウス事業の景観配慮 で植栽設置が必要では

総務産業

常任委員会報告

委員長 山本 富夫

◇6月12日(火)

●議案第45号

■高浜町町税条例等の一部を

改正する条例

委員からは、個人所得課税見直し、基礎控除、たばこ税、中小事業者の固定資産税特例措置についての質疑があった。

理事者から主な改正内容は、個人所得課税の見直しと、今国が進めている働き方改革を後押しするというところで、個人取得控除、公的年金等控除から基礎控除への振替えということで、



旧塩屋全面改装(内観)

給与所得控除、公的年金等控除、控除額、所得控除として10万円の減額となるものであるとの回答があった。
固定資産税の課税標準の特例制度を設ける中で、高浜町の場合、固定資産税を3年間ゼロに減額する回答があった。
たばこ税については、加熱式たばこに關しても応分な課税をしていくように改正される内容であるとの回答があった。

●施設視察

新たにリニューアルされた塩屋を視察し、いまだ決定していない指定管理の方向性や改装された塩屋の状況を確認した。



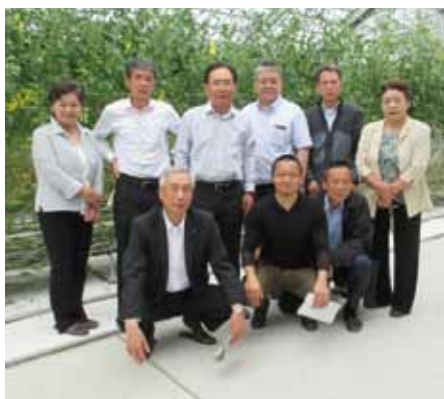
旧塩屋全面改装(外観)

6月定例議会に議案上程された園芸産地育成強化事業の自然光利用型の連棟ハウス整備事業の現地視察を行った。委員からは、和田地区に集中しているハウスの景観を植栽等で改善すべきとの意見が出された。



旧青戸園敷地跡

●オールシーズン園芸モデル事業(平成24年度開始)ながの農園を視察した。トマト生産は5期を迎え、建物の老朽化、越のルビー苗の病気に強い品種改良が課題であることが核にされた。



合同会社 ながの農園

●道の駅シーサイド高浜を視察した。指定管理の中日本エクシス(株)荒木社長から施設の老朽化対策についての課題を確認した。



道の駅シーサイド高浜

議員と語ろう会

総務産業常任委員会のメンバーを中心に実施

日時：5月9日(水)午後7時30分～9時
 場所：青郷公民館
 テーマ：青葉山の薬草栽培に関する意見交換
 参加者：11名、青葉山麓研究所3名
 委員：山本委員長、西野副委員長、大塚委員、井ノ元委員、磯部委員、横田委員、栗野委員

質問 ハーバルと青葉山麓研究所の関係はどのようなのか。

回答 両者は指定管理を受けた。今、まさにスタートを切り、ハーバルで色々な対応を行って行きたい。

質問 ハーバルは、目的があったのではないが。育苗センターは補助事業の対象となっているのか。

回答 第三セクターのいきいきタウンは、専門知識が無いのに実施していた。薬草については、専門の方々がいる。補助事業については町から県へすべて要請している。ルール作りがしっかり

と出来ている。

質問 獣害を受けない薬草はあるのか。

回答 獣害を受けない薬草はない。トリカブト以外は全て被害を受ける。

質問 薬草栽培に関する順序は考えているのか。

回答 稲のよ
うに分かって
いけば工程も
考えられる
が、今のところ
スタートし
たばかり難し
いところがあ
る。



質問 薬草について、青葉

山麓研究所に任せてあるとのことだが、10年後も本当にやって行けるのか。販売するのか。

回答 町の出だしは遅いが、県や国が期待している。また、栽培に関しては専門家の協力を得ており、ボランティアでやっているの、しっかりみんな考えてやって行きたい。

質問 責任について、町がやって行く

と言ったので、しっかりとやって貰いたい。心構えを持って貰いたい。

回答 試験栽培についてもボランティアが無償でやっている。

和田・高浜、舞鶴市など近くでの栽培も考えている。工程については、ポットの価格をいくらにするかを考えている。

また、生薬会社と話を決めて行きたい。

農家さんが生産して行くのが良いかと思っている。栽培については、20回程度意見交換をしてやっているのが現状である。

質問 小和田などで、高浜町の杜仲茶を作っている。高齢化しているが、しっかりやっている方が居られる。これを見前向きに考えてもらいたい。

回答 高浜町が出来ていることは、三社協定を結ぶことによって、種を貰って栽培ができ、薬品ができる。

育苗センターで育てて全国に出して売る。

基源植物であり東京生薬協の指導を受けルートができていのは高浜町だけである。

その他、ここには書き切れない程の、活発な意見が多くてました。

参加者の皆様大変ありがとうございました。

◆委員長の講話

先駆けて、とりくむのは大変であると思う。

高浜町は、「今、これだと思ふ」日本でも初めてやるぞと、苗を高浜町が出して育てて行くこともビジネスになるのではないかと。

しっかりとルールを守ってやらないと売れない。誰がやるのか、やる人がいないと始まらないと考えている。

と言うことで、色々な意見を出して貰いたい。本音を言って貰って良いと思う。

日本産は期待されている。我々もしっかりと見守って行きたい。



放課後児童健全育成事業の一部改正条例

厚生文教

常任委員会報告

委員長 廣瀬 とし子

◇6月13日(水)

■議案第46号

■高浜町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

放課後児童支援員は都道府県知事が行う研修を修了したものでなければならない。

教育職員免許法規定する免許状を有する者。5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適当と認めたものである。

今回改正については、できるだけ支

援員の資格を、拡大するという意味合いがある。
5年以上とか、あるいは中卒でも資格がとれることで拡大する。

放課後児童クラブ 1日の流れ



下校



宿題



遊び



帰宅

◇6月13日(水)

■視察先

保健福祉センター

■子育て世代包括支援センター

「kurumu」

平成30年4月に開設された。

子育て世代包括支援センター「kurumu」を視察した。妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない包括的子育て支援を提供する拠点施設である。

愛称「kurumu」は「包」という漢字からできており、高浜でくるむ、高浜をくるむ。

【高浜版ネウボラ】のシンボルは左記デザイン



子育て世代包括支援センター「kurumu」館内のようす

大飯原子力発電所 再稼働の万全体制確認

原子力対策

特別委員会報告

委員長 山本 富夫

◇6月14日(木)

高浜発電所の状況について宮田所長から現況報告を受けた。

・新規基準の適合性審査状況

・高浜発電所1・2号機の安全性向上

●対策工事の実施状況等について

平成28年9月から格納容器上部遮蔽工事等が順調に進められている報告があり平成32年3月頃竣工予定である旨の報告があった。

・緊急時対策所、免振事務棟設置工事についても30年度運用開始に向け順調

に工事の進捗を確認した。

・4号機、3号機の定期検査により1、2号機との工事幅員による入構者増加による時差作業対策を導入。交通渋滞対策も駐車場の分散で対応している報告があった。

◆大飯原子力発電所視察

吉田大飯発電所所長より再稼働実施された3・4号機の状況説明を受け現地視察を行い問題なく進められている状況を確認した。

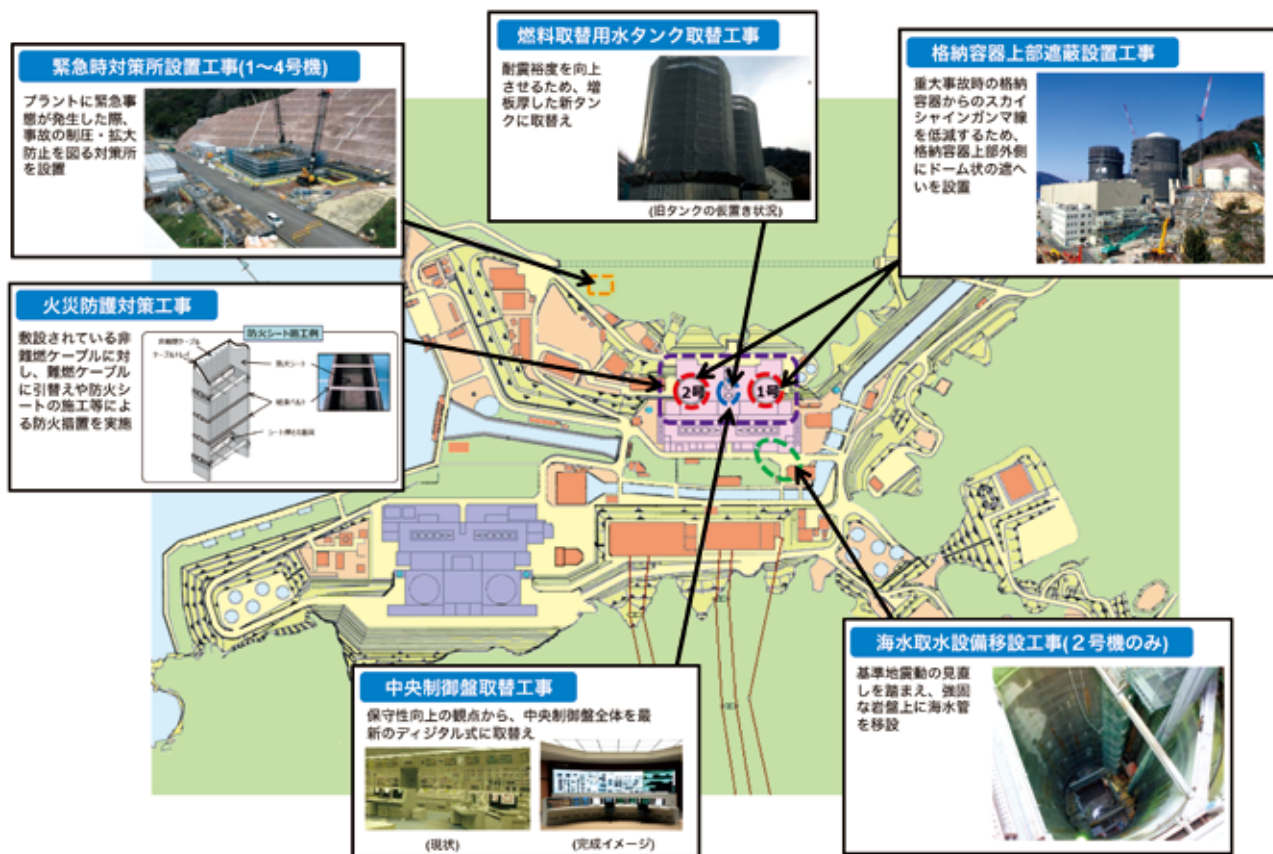


大飯原子力発電所視察



大飯原子力発電所VR体験

高浜発電所1,2号機 主な安全性向上対策工事の実施状況



人口減少対策関連の新規施策に係る意見交換を行う

人口減少問題対策調査

特別委員会報告

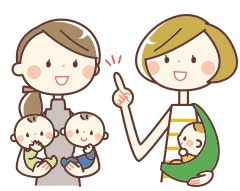
委員長 井上 順也

◇6月15日(金)

①平成29年度総合戦略の結果確認及び理事者との意見交換

人口減少の下落率は、2040年に8300人を目標とすると、マイナス4.7%。

それに対して政策誘導による平成28年度はマイナス1.1%、29年度はマイナス2.0%と下落率が抑制されており、目標達成の可能性が高い。



高浜町人口ビジョンにおける人口の推移状況

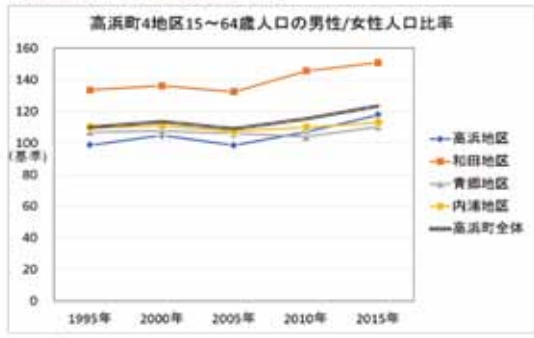
②人口減少対策関連の新規施策に係る意見交換

(1)奨学金の返還支援について
高浜町奨学金支援制度(案)の応募要件、給付率・期間、給付要件等について説明を受けた。

(2)新規施策の立案に向けた論点整理
①将来人口推計業務の進捗について
平成30年度に実施している、福井県立大学との共同研究の取り組み状況に

ついて説明を受けた。
(高浜、和田、青郷、内浦地区の地区ごとの将来人口推計、動向分析等からこれまでの政策の評価分析を行い、政策立案の共同基盤を整えることがねらい)

共同研究による実施把握の一例



<グラフからわかること>
和田地区が他地区と比較して、著しく15～64歳の男性比率が高い(=单身・単身男性が相対的に多い)
地区別の男性女性比率

②人口減少対策の方向性について

地方版総合戦略(人口減少克服と地方創生を目的)と総合計画(町の最上位計画で総合的な振興・発展を目的)の関連性を踏まえ、人口減少対策のターゲット層の見直し及び新規施策の方向性について説明を受けた。



人口減少対策の方向性

- 人的・財政資源に限られる中で、少子高齢化の進展に伴う社会問題が拡大・深刻化している。
- 今後、人材や企業の誘致・育成を行う上で、ターゲット層の特定と、社会問題の解決をうまく掛け合わせることで、ピンチをチャンスに変えることを目指す。

<イメージ>



持続可能な高浜町

企業誘致数はゼロであるが、その原因と誘致策はあるのか。
大規模な企業誘致を考えると人出不足や広い土地がないのも原因。
今後は、空家を活用したサテライトオフィスのような小さな企業誘致を検討している。

人口が集まらないではなく、集めるといのが本来の目的ではないか。

現実的には、人口を増やすのは難しい。減らさないようにする事に注力している。

若い世代が町内で家を新築している。状況把握ができていないか。

現状はできていない。

企業に対する金利補填をやめて、住宅ローンの金利支援等に振り向けられないか。

5年間だけ、数値目標を達成するだけではない。

住宅施策は非常に重要と考えている。

新幹線が来ることによるスロー現象を逆にすべきでないか。

嶺南、京都府エリア等広域連携で人口増加につなげる。

奨学金制度の案は、良く考えられているが、町民に対する格差をつけるべき。

割合を検討する。町民にとって満足できるような制度にしたい。

人口減対策の方向性は良い。高浜らしい魅力を出せるようにしていくべき。各課連携をして具体的な施策につなげてほしい。

女性の社会進出についてどう考えているか。

労働人口が減る中で、生活水準を守るため、女性の力が必要。また、外国人や、高齢者の力も必要。

議員と語ろう会

人口減少問題対策調査特別委員会のメンバーを中心に実施

日時：5月15日(火)午後7時30分～9時10分

場所：和田公民館 2階研修室

テーマ：Uターン者の増加対策と定住促進について

参加者：14名

委員：井上委員長、大塚副委員長、児玉委員、釣本委員、廣瀬委員、小幡委員

Uターンと定住に関心がある皆様を中心に参加して頂いた。意見・要望の一部を紹介する。

◆ 次のような意見をいただいた。

● 学費補助とUターン者の増加対策として、高浜町に住むことを条件に奨学金制度創設をしてほしい。

その際、公平な条件のもとで実施すべきである。

● 定住者に対して、町税の補助も必要である。

● 高浜町のホームページが古い、情報集約、早期の更新が必要である。

● 家を探すための情報がホームページに掲載されていない。関連ページに飛ばない。

● 移住者の住宅取得の補助が必要である。

● 就職祝い金など必要である。

● 町営住宅に入れない高齢者、低所得者、若者用と分けた住居施策を考えてほしい。

● 子育て情報(病児病後児保育等)、住宅補助施策がわからない。

● PR不足。アパートに居住している場合、各所帯に回覧等が入らない。

● 地域おこし協力隊の仕事に対して、ゴールまで(根付くまで)面倒を見るべき。

貴重なご意見頂きありがとうございます。



議員と語ろう会 意見交換



議員と語ろう会 意見交換

特別委員会で 議員の出前懇談会実施

人口減少問題対策調査

特別委員会報告

委員長 井上 順也

◇5月8日(火) 中町区上田邸

NPO法人塩屋さんと移住定住、ま
ちづくりについてのテーマで、議員の
出前懇談会を実施した。

まちなか交流館とのかかわりや、子
ども食堂の運営など貴重なご意見をお
聞きました。

今後、まちなかの賑わい創出、空き
家解消等に、町との
協力関係が促進され
るよう意見を述べて
行きたい。



出前懇談会の様子

◇5月21日(月)

出前懇談会での意見を受け、委員会
でまちなか交流館の運用について理事者
側の考えを聞き、意見交換を実施した。

指定管理者がない中で、まちなか交流
館の運用はどうするのか。

現在、6月23日オープンに向けて、
準備段階である。今年度は、シルバー
人材センターに、清掃業務、会議室予
約受付、来館者チェック等を委託し、
イベント企画、他団体の利用企画支援
等は町が協力してやっていく。

指定管理者については、12月に再度
募集をかけて行く。

来年度指定管理者が決まるまで、町
でしっかりやっていく。

町民主体の鳥獣害対策。行政は そのサポートを！現状視察実施

鳥獣害対策

特別委員会報告

委員長 西野 朋宏

◇6月15日(金)

◎防獣ネット柵の現状視察

鳥獣害のない里づくり推進事業にて
整備された、上瀬区防獣ネット柵の現
状視察を実施。上瀬区では、長年二ホ
ンジカの栽培花木への食害及びイノシ
シの集落内の掘り返し被害に頭を悩ま
せていたが、ネット柵整備後は被害が
大幅に減少したと住民から声が寄せら
れた。その一方で、ネット柵整備後の
維持管理や、未だに発生する被害に頭
を悩ませているのが現状。今回の視察
では、ネット柵が山からの落石により

破損の可能性がある箇所を住民自らで
補修した箇所及び獣侵入の盲点である
ネット柵ゲート部分の改修箇所を視察
した。



ネット柵の視察(上瀬区)



集落点検(宮尾区)

◎集落点検の効果の検証

高浜町が昨年度から新たに実施して
いる町内全域を対象にした集落点検の
効果の検証のため、現状視察を宮尾区
にて実施。畑や水田に設置されている
防護柵の設置状況を、集落住民と共に
点検する集落点検は非常に効果的であ
り、参加住民からは「もっと早くから
実施して欲しかった。」、「維持管理
方法や設置方法の盲点を目の前で見て
学べるので非常に良い。」といった声
も。昨年度の点検では町内に設置され
ている防護柵のおよそ8割が獣に有効
に設置されていないという結果も出て
おり、今後も根気よく点検を実施して
いかなければならない。

平成30年第1回嶺南広域行政組合定例会開催

嶺南広域行政組合

代表議員 上尾 徳郎

◇3月27日(火) 敦賀市立図書館

平成30年

第1回嶺南行政組合定例会

山口和治副議長(美浜町)の辞任に伴ない、副議長選挙が行われ梅津隆久議員(美浜町)を選出。
敦賀市長測上管理者より提案理由説明後、議案審議。

●第1号議案

平成29年度嶺南広域行政組合一般会計補

正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ6082万8千円

の増加で補正後の予算総額は9億2702万8千円。

関西電力高浜発電所3、4号機の再稼働に伴う、県からの核燃料税交付金の増加が主要因。

【全員賛成で同意】

●第2号議案

平成30年度嶺南広域行政組合一般会計予

算

歳入歳出それぞれ8億7145万3千円、前年度比525万3千円の増額。

歳入のうち、核燃料税交付金は今年度と同額を計上、大飯発電所3、4号機の再稼働や1、2号機廃炉手続きに伴う増減は、確定次第補正予算に計上する。

歳出は、新たに嶺南地域公共交通網形成計画策定に係る地元負担金を計上するなど、公共交通機関の利用促進や、嶺南地域の活性化に向けた必要予算を計上。

【全員賛成で可決】

●第2号議案

福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合規約の変更並びに財産処分件

「この国広域事務組合」の福井県市町総合事務組合からの脱退に伴う、規約の改正

【全員賛成で可決】

第182回若狭消防組合議会定例会

若狭消防組合

代表議員 見玉 千明

◇2月20日(火)～3月28日(水)

若狭消防組合本部議場

●議案第1号

福井県市町総合事務組合規約の変更および財産処分について

【原案可決】

●議案第2号

若狭消防組合手数料条例の一部改正について

【原案可決】

●議案第3号

平成30年度若狭消防組合一般会計予算
質疑一件「耐震性貯水槽整備について」

高浜町 渡邊議員

一般質問一件「災害用ドローン導入の

検討について」おおい町 辻議員

◇3月26日(月)

若狭広域行政事務組合議会議場

●議案第1号

平成30年度若狭広域行政事務組合一般会計予算

●議案第2号

「この国広域総合事務組合」規約の変更及び財産処分について

【全員賛成で可決】



平成30年第1回若狭広域行政事務組合議会定例会報告

若狭広域行政事務組合

代表議員 横田 則孝

議員の 出前懇談会

商工会女性部の 皆さんに呼んでいただきました

平成30年6月25日(月)高浜町商工会館にて、商工会女性部の皆さまに呼んで頂き、議員の出前懇談会が開催されました。

高浜町議会からは廣瀬、大塚、児玉と女性議員3名が出席し、事前に頂いていた20項目以上の質問を元に現在の高浜町、また今後の高浜町について幅広い分野で意見交換ができました。

女性の社会進出や、公共施設について、女性目線ならではの生活に係る問題など活発に意見が出され、高浜町議会としましても行政や関係団体と改善していかなければならないものや、明確にしていかなければならない課題などが浮き彫りになったように思います。

今回で3回目になりますが、今後とも継続的にこのような場を設けさせていただけたらなと思います。商工会女性部の皆さま、ありがとうございました。



(児玉千明)

編集後記

高浜町議会では町民の信託に伝えるため活発な議論が展開されています。

広報委員会としてはそうした様子を少しでもお伝えすべく一生懸命に取り組んでおります。

5月には広報委員会の組織替えがあり、2名のメンバーが交代しました。

先日の広報研修会にも参加し、より見やすい広報になるように研修を受けてまいりました。

議会活動・議員各位の奮闘ぶりを皆様のお手元に届けられるように、メンバー一同努力してまいりますので御愛読下さいますようお願い申し上げます。

(横田則孝)

広報特別委員会

委員長 児玉 千明
副委員長 井上 順也
委員 横田 則孝
井ノ元康夫
釣本 音次
西野 朋宏

